平成 20 年度地球環境基金　海外派遣研修
タイ・カンボジア活動体験コース　報告書

平成 21 年 2 月

主催：独立行政法人環境再生保全機構

協力：特定非営利活動法人環境修復保全機構

はじめに

地球環境を保全していく上で大きな課題の一つとして、開発途上地域における環境問題への対応があげられます。広大な自然を有する開発途上地域においては、特に持続可能な開発への配慮が必要となりますが、財源・技術・人材の不足するこれらの地域において持続可能な開発を実現するためには、経験とノウハウを有する国々が積極的な支援を行うことが重要です。

このため、当機構では平成 9 年度から、開発途上地域の環境保全に貢献できる人材の育成を目的に、海外派遣研修を行ってまいりました。

平成 20 年度はタイ・カンボジア活動体験コース（長期コース）と、インドネシア共和国実践手法スタディコース（短期コース）を企画いたしました。

タイ・カンボジア活動体験コースは、開発途上地域における環境 NGO 活動に関心のある方を対象に、現地での実践活動を通じて開発途上地域の文化や社会状況を理解し、環境問題の現状とその原因について学ぶとともに国際協力の意義や必要性を理解する機会を得ることを目的として行いました。今回、その研修での活動や体験の成果について、研修生の皆さんも分担執筆し、本報告書を作成いたしました。

本報告書が、開発途上地域の環境保全活動に従事し、あるいは活動を志す NGO の皆様にとりまして、今後の活動のお役に立てれば幸いです。

平成 21 年 2 月
独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部長　西久保　裕彦

平成 20 年度地球環境基金海外派遣研修
タイ・カンボジア活動体験コースを終えて

特定非営利活動法人環境修復保全機構（ERECON）は、独立行政法人環境再生保全機構から委託を受けて「平成 20 年度地球環境基金海外派遣研修タイ・カンボジア活動体験コース」を平成 20 年 8 月 21 日から 9 月 15 日までの 26 日間実施致しました。本報告書はその研修内容と成果について、研修参加者等の協力を得てまとめたものです。

ERECON は環境再生保全機構地球環境基金部が平成 6 年度より実施している「海外派遣研修」を今回初めて実施協力いたしました。地球環境基金部の皆様に我々の至らない部分を暖かくご指導いただき、26 日間の研修プログラムを無事に実施でき誠に有り難く感謝申し上げます。今回の派遣研修コースでは ERECON の環境保全活動実施地を多く訪れ、研修生がスタッフと共に NGO 活動の実践体験をすることで、途上国の活動地で試行錯誤しながら進んでゆく国際環境協力 NGO のリアルな現場を体験することができたと思います。

途上国でなぜ環境保全活動をするのか、なぜ他国の支援が必要とされているのか、このような基本的な質問を研修生が自分に問いかけ、それぞれ自分の力で回答を見つけ出す能力を養うことはできないのだろうか、という思いから今回の派遣研修のコースは作られました。積み重なる疲労と理解の難しい現地語に囲まれた不慣れな環境で、自分で歩き・考え続け、自分の力とそこにあるもので出来ることをしてみることを研修生の課題の基本としました。まだ社会経験の少ない研修生は、思うように身動きがとれないことや、待つことでしか対処できないことへの歯がゆさに、苛立ったり、悲しくなったりすることもあったのではないでしょうか。現地で予定した通りかつ指示通りに物事が動けば、発展的な活動を早急に行うことも可能なのではないかと感じることがあります。しかし我々の活動する途上国の農村域では、生き続けること自体が厳しい状況の場所もあります。我々主体の効率重視や成果主義のやり方で、よい結果を導くことが難しい場合も考えられます。そのため現地の方々のペースで歩んでいくこと、予想外に起こる障害を時間をかけて共に乗り越えてゆくことは大切な活動の一部であり、現地の方々の理解度や価値観に寄り添う力を身につけることが必要とされます。今回、このような現場で奮闘する国際環境協力活動のプロフェッショナルとの出会いを重ねたことで、将来研修生がその場に立つことを具体的に思い描ける経験も得られたのはないでしょうか。研修にご協力いただきました国際協力機構、日本国際ボランティアセンター、上智大学アジア人材養成研究センター、桜美林大学、東京農業大学、タイ王国カセサート大学、カンボジア王国王立農業大学のみなさまにはこの場をお借りしまして心より深謝申し上げます。最後に、今回の一連のプログラムに挑まれた経験が、研修生のこれから進む人生の指針や励みとなることを願います。刻々と変化し続ける社会の中で、難しい決断を迫られる立場に立ったときには、「何が地球環境問題の解決につながるのか」ということを、現場に立って考える力を持って頂きたいと希望します。みなさまが伸びやかにご活躍されることを心より祈念申し上げます。

平成 21 年 2 月
特定非営利活動法人 環境修復保全機構
代表理事　三原　真智人